

YAESU

Radio for Professionals

5W ハイパワー デジタル トランシーバー

シンプルキーモデル

SRD790

SRD790-BT Bluetooth®

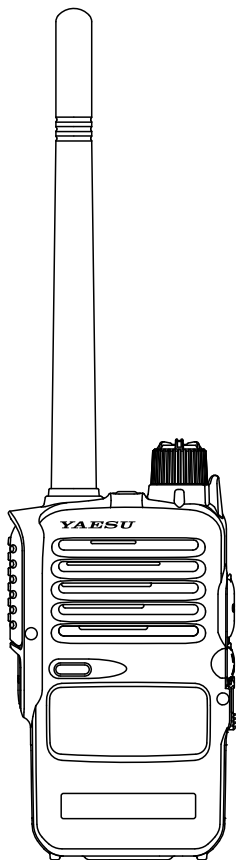
フロントキー付きモデル

SRD795

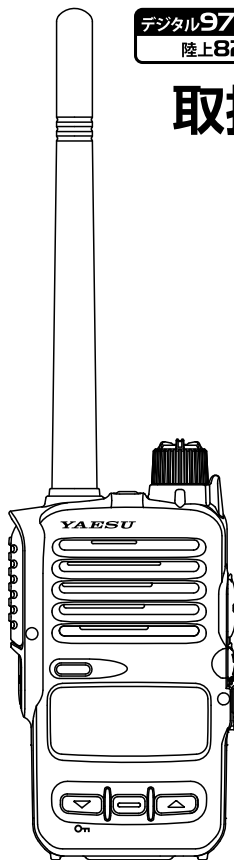
SRD795-BT Bluetooth®

デジタル97ch対応(3R3T登録局) 資格不要
陸上82ch送受信+上空15ch受信

取扱説明書



シンプルキーモデル
SRD790 シリーズ



フロントキー付モデル
SRD795 シリーズ

お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

この無線機は国内専用モデルです。
海外では使用できません。

目 次

各モード共通

はじめに	1
正しくご使用いただくために	1
構成品	1
ご使用になる前の準備	2
充電をする（充電時間は約3時間）	2
リチウムイオンバッテリーの取り付け / 取り外し	2
スピーカーマイク、タイピンマイクの 接続 / 取り外し	2
各部の名前と機能	3

基本的な使いかた（各モード共通）

お使いになる前に	4
① 運用モードを変更する	4
② エリアリサーチを行う	4
お使いになりながら機能を変更する	4
③ 簡易機能の変更（SRD795のみ）	4
④ テレポート機能の変更	4
⑤ 全体設定	4
運用モードについて	5
① 運用モードを変更	9
② エリアリサーチによるチャンネル設定	10
1 台の SRD790/795 でエリアリサーチを始める ..	10
他の SRD790/795 にチャンネル情報を移行する ..	10
基本的な通話のしかた	11
送信する時	11
受信する時	11
便利な機能	11
CUE（キュー）機能でメンバーに合図を送る	11
ロック機能（SRD795/SRD795-BTのみ）	11
YAESU コネクトで使用するチャンネルについて	11
③ 簡易機能の変更（SRD795 シリーズのみ）	13
簡易設定で変更できる項目	14
グループ以外の通話が聞こえる時は グループ ID を変える	15
1 台のグループ ID を変更してから エアクローンで全てを 新しいグループ ID に同期する	15
もし通話ができなくなったときは エアクローンで同期をし直す	16

応用編

④ テレポート機能を変更する	18
プロモードの時のテレポート機能の項目リスト	19
グループモードの時のテレポート機能の項目リスト	20
デュオモードの時のテレポート機能の項目リスト	21
マニュアルでチャンネルを変える	22
ワンクリックハンズフリー機能	23
マイクの感度を変える	24
CUE 機能に関する設定	24
Bluetooth ヘッドセットでワイヤレス通信を行う	25
Bluetooth ヘッドセットで ハンズフリー運用をする	26
Bluetooth ヘッドセットのマイクの感度を変える ..	26
Bluetooth に関する設定だけを 初期化（リセット）する	26
⑤ 全体設定	27
正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す （リセット）	30

故障かな？と思う前に	31
アフターサービス	31
防水性能について	31
電波干渉について	32
2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意	32
安全上のご注意 ～必ずお読みください～	33
索引	34

ノーマルモード

ノーマルモード	36
マイクの感度を変える	37
簡易機能の変更	38
簡易設定で変更できる項目	39
全体設定	41

はじめに

本機をご使用になるには、電波法で定められている「無線局登録申請」を行い、登録状の交付を受けることが必要です。本機をご使用になる前に、別紙「登録申請の手引き」を参考にして、必ず登録申請を行い、登録状の交付を受けてください。

登録申請および開設申請につきましてはご購入いただきました販売店、または当社国内営業部までお問い合わせください。

注意

登録状の交付を受けずに本機を運用し、電波を出した場合、不法無線局となり、一年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることになりますので、必ず無線局登録申請を行い、登録状の交付を受けた後に運用を行ってください。

- ご利用にあたって
- 本機は技術基準適合証明を取得し、ARIB規格に準拠していますので、他社のデジタル簡易無線機（種別コード「3R 3T」）との互換性を確保しています。ARIB規格以外の機能の互換性はありません。
- 本体背面に貼り付けてある「証明ラベル」を剥がしたり、「分解」や「改造」を行うことは、法律で禁止されています。
- 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。
- 免責事項
- 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

正しくご使用いただくために

- 本機にマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。
- 当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
- リチウムイオンバッテリーを充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります。
- 外部マイクロホンを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたままにしないでください。
- コードの断線などにより、故障の原因になります。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
- 電波法により、トランシーバーやマイクを分解・改造・指定以外の装置を接続することは禁じられています。
- 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。
- 通話する際は、本機から約5センチ離れて普通の声量で話してください。
- 本機と口元の距離が近かったり、声が大きかったりすると、音声割れや歪むことがあります。
- 運用が終わりましたら、バッテリーが消耗しないように、トランシーバーの電源を切ってください。
- 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

構成

- | | | | |
|----------------------|---|---------------------------|---|
| ○ 無線機本体 | 1 | ○ 充電器スリーブ専用 AC アダプタ | 1 |
| ○ アンテナ | 1 | ○ 取扱説明書 | 1 |
| ○ リチウムイオンバッテリー | 1 | ○ 無線局登録申請書類（一式） | 1 |
| ○ 充電器スリーブ | 1 | ○ 保証書 | 1 |

上記はオールインワンパッケージの標準構成品です。販売形態により構成品は異なります。

不足品がある場合には、お買い上げの販売店にお申し出ください。

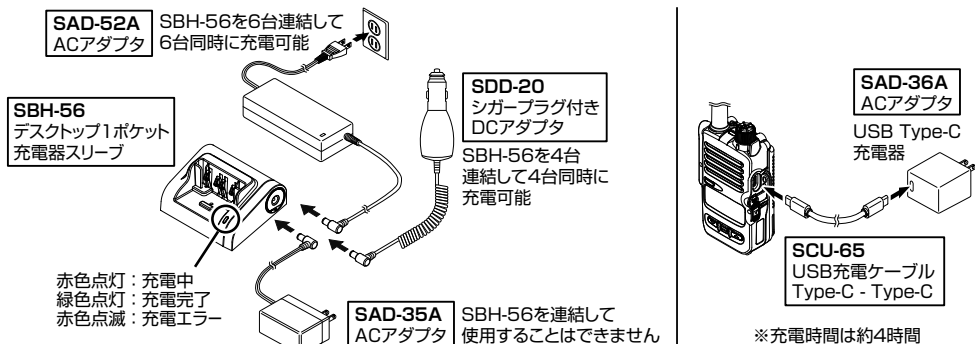


Li-ion

リチウムイオンバッテリーはリサイクルできます。
リチウムイオンバッテリーが不要になった場合は廃棄せず、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。

ご使用になる前の準備

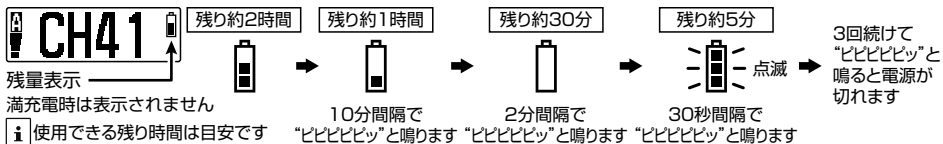
充電をする（充電時間は約3時間）



- 使用可能時間*：約 13.5 時間（プロモード）、約 15 時間（ノーマルモード）
- ※送信（5W）：受信：待受＝5：5：90 の割合で運用時、バッテリーセーブ機能オン、Bluetooth® 機能オフ

ローバッテリーアラート機能

電池が少なくなると電池マークの表示とアラーム音で知らせます

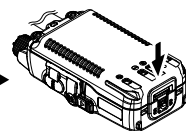
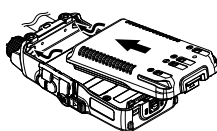


リチウムイオンバッテリーの取り付け / 取り外し

バッテリーをスライドさせて差し込む

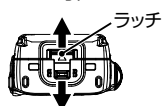
“カチッ”と音がするまで押し込む

ロックします



取り外す

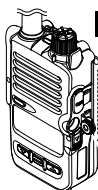
② ラッチを引き上げる



① ロックを解除して

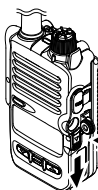
スピーカーマイク、タイピンマイクの接続 / 取り外し

接続



奥までしっかり挿し込む

取り外し



① ロックノブを下にスライドさせる

② プラグを抜く

スピーカーマイクやタイピンマイク、イヤブースは、当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます

各部の名前と機能

SRD795 シリーズ

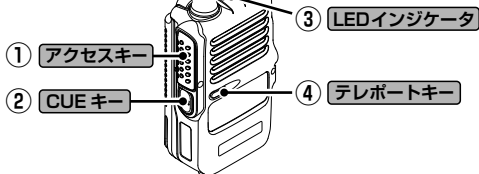
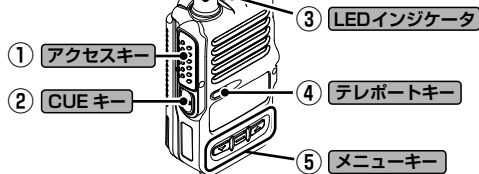
SRD790 シリーズ

アンテナ

この部分を持ち動かなくなるまでまわして取付ます

電源スイッチ / 音量調節ツマミ

右にまわして電源を入れて、相手の声が聞きやすい音量に調節します
“カチッ”というまで左にまわすと電源が切れます



① アクセスキーの操作

送信する時に押します

押ししている間は送信を続け、放すと受信に戻ります

アクセスキーは全体設定項目の **8 アクセスキー動作** (28 ページ) で好みにあわせて操作方法を変えることができます

※ タイピンマイクなどの外部マイクを使用時に、誤って送信 / 受信が切り替わらないようにアクセスキーを無効にすることができます
全体設定項目の **15 外部マイク接続時** (29 ページ) で“アクセスキー無効”にしてください

③ LED インジケータ

緑点灯：受信中

緑点滅：・異なるグループ ID 番号の信号を受信したとき
(音声はミュートになっています)
・グループ ID およびテレポート機能設定を変更中
・個別の設定 (機能設定項目) を変更中

赤点灯：・送信中

・エアクロニデータ転送中

オレンジ点灯：マージ (MERGE) 機能で送信中

赤と緑の点滅：エリアリサーチ機能動作中

赤の速い点滅：チャンネルが使用中で送信できないとき

② CUE キーの操作

メンバーに合図を送る (キュー機能)

短押しすると、メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます

グループ間の垣根を取り払って全員で連絡を取り合う

MERGE (マージ) 機能 (グループモード、デュオモード時のみ)

グループモード、デュオモード時

長押しすると、グループ全体で連絡を取り

合図ことができます。もう一度 CUE キーを長押しすると、各グループごとに連絡を取り合う状態に戻ります

④ テレポートキー

プロモード時：短押しするたびに使用するチャンネルを手動で変更することができます

グループモード時：短押しするたびに使用するグループチャンネルに移動することができます

デュオモード時：短押し → A-ch と B-ch が切り替わります

：長押し → 自動で混信が起これにくいチャンネルに移動します

テレポート機能の設定を変える時に使用します

詳しくは“テレポート機能を変更する” (18 ページ) を参照してください

⑤ メニューキー ([▼]/[←]/[▲]) の操作 (SRD795 シリーズのみ)

▼キー	[-]キー	▲キー
・チャンネルを手動で切り替えられます ・設定モードでは項目や設定値を変えられます	長押しすると簡易メニュー設定画面になり、よく使用する設定を変更できます 設定が終わったらアクセスキーを短押しすると元の画面に戻ります	・チャンネルを手動で切り替えられます ・設定モードでは項目や設定値を変えられます

お使いになる前に

YAESU コネクトは用途にあわせて4つのモードを選べますので、面倒な設定をしなくてもそのまますぐに業務にあった柔軟な運用が可能です

ご使用の前に業務にあったモードに設定してください

① 運用モードを変更する（アクセスキーとCUEキーを押しながら電源を入れる）

出荷時はプロモードになっていますので、プロモードをご使用になる場合は運用モードを変える必要はありません

運用モードを変更した後はエアクローンで全てのSRD790/795を同期してください

運用モードは始めに設定を行えば、その後は変更する必要はありません

② エリアリサーチを行う（テレポートキーを押しながら電源を入れる）

使用エリアの電波状態から混信の少ないチャンネルを登録します

設定後はエアクローンで全てのSRD790/795を同期してください

混信の少ないエリアでは、エリアリサーチを行う必要はありません

お使いになりながら機能を変更する

③ 簡易機能の変更（SRD795のみ）（フロントパネルの[－]キーを長押しする）

よく使う機能は、使用状況にあわせて簡単に設定を変えることができます

④ テレポート機能の変更（テレポートキーを押しながら電源を入れる）

テレポート機能に関する設定を変更します

設定後はエアクローンで全てのSRD790/795を同期してください

⑤ 全体設定（CUEキーを押しながら電源を入れる）

詳細な設定を変更します

秘話設定は、設定後に“F15 設定内容転送”で他の全てのSRD790/795にコピーしてください

運用モードについて

ご使用の前に業務にあったモードに設定してください

YAESU コネクトは用途にあわせて4つのモードを選べますので、面倒な設定をしなくてもそのまますぐに業務にあった柔軟な運用が可能です

プロモード

メンバー同士の連絡を混信の心配なく使いたいときに最適です

混信があった時は、何もしなくても自動で瞬時に混信のないチャンネルへ移動、何事もなかったかのように続けて通話することができます。混信が起きて通話ができなくなるという問題がなくなり、特に繁華街や複数の施設が入っている複合ビルなどでも安心して通話を行うことができます



プロモードでは、混信があると自動で混信のないチャンネルへ移動しますが、あらかじめ設定されている7つのチャンネルの間をテレポートキーを押して手動で移動することもできます

工場出荷時は A-ch ～ G-ch には以下のチャンネルが設定されています

A-ch	B-ch	C-ch	D-ch	E-ch	F-ch	G-ch
41	57	12	20	43	61	06

トランシーバーが自動で混信を回避してくれますので、混信があっても気にすることなく通話を続けることができます

混信があると任意の7チャンネルの中から空いているチャンネルへ自動で移動します

7チャンネルは、エリアリサーチで新しいチャンネルへ移動することができます

任意のチャンネル変更については“② エリアリサーチによるチャンネル設定”（10 ページ）を参照してください

他人の声が聞こえる時は、グループ ID を変更します

変更の方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える”（15 ページ）をお読みください

通話ができなときは、エアクローンで全ての SRD790/795 の設定を同期してください

エアクローンの方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（16 ページ）をお読みください

グループモード

複数のグループが連絡を取り合っている業務に最適です

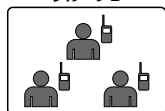
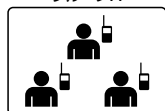
フロント係、客室係、駐車場、レストランなど、複数のグループが別々に連絡を取り合うホテルなどでの連絡に最適なモードです。最大7つのグループまで設定することができ、通常はグループ内だけで連絡を行います、緊急時はグループ間の垣根をなくして全員と連絡を取り合うことができます

グループで別々に通話ができます

グループA

グループB

グループの垣根を無くして全員で通話ができます



誰か1人がCUEキーを長押し



- ・通常はテレポートキーで選択したグループのメンバーとだけ通話ができます。他のグループとは通話できません
- ・緊急時は、CUEキーを長押しするとグループ間の垣根をなくして全員と連絡を取り合うことができます（マージ機能）

電源を入れて“GROUP”と表示されてグループモードになっていることを確認します

他のモードになっている時は、モードをGROUPに設定するか、他のSRD790/795からエアクローンで内容を更新します

最大7グループで使うことができます。始めに必要なグループの数を決めて必要のないグループは消去することができます

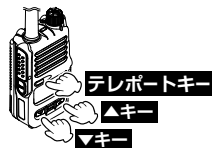
フロント係は“Aグループ”、客室係は“Bグループ”、駐車場係は“Cグループ”のように、部門ごとに使用するグループチャンネルを選んで使うことができます

グループを選ぶ（Aグループ～Gグループ）

SRD790の場合：テレポートキーを短押しするたびにAグループ～Gグループを順番に切り替えます

SRD795の場合：[▼]/[▲]を短押しするたびにAグループ～Gグループを順番に切り替えます

画面で、選択したグループを確認して通話を行います



必要のないグループを消去する方法

必要なグループだけを表示して、スピーディーな運用ができます

1. テレポートキーを押しながら電源を入れます

2. 使わないグループチャンネルを選びます

GA-chとGL-chは非表示にできません

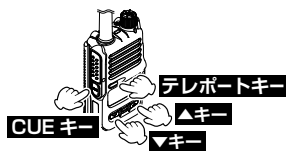
テレポートキー/CUEキーを短押しして選びます

SRD795の場合は[▼]/[▲]キーを短押ししても選べます

3. CUEキーを長押しで消去します

4. 電源を一度切ると設定終了です

5. エアクローンで他のSRD790/795に内容を同期します。エアクローンの方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（16ページ）をお読みください



表示しないようにしたグループチャンネルを再び表示する

1. アクセスキーとCUEキーを同時に押しながら電源を入れます

2. “2 GROUP”を選んでテレポートキーを長押しします

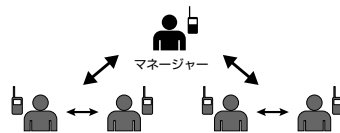
再び全てのグループチャンネルが表示されます

デュオモード 管理者の下で2つのグループが連絡を取り合っている業務に最適です

業務に合わせて“2グループオペレーション”または“1グループオペレーション”のどちらかを選んで運用します

デュオモード（2グループオペレーション）

- ・ホテルでのフロント周りの連絡とフロアレ스토랑内の連絡などで、同じエリアに2つの部門が別々に連絡を取り合うような業務に最適なモードです。管理者は両方のチャンネルを同時に聞くことができますので、常に全体の動きを把握することができます
- ・通常はグループ内だけで連絡を行います。緊急時はマージ機能（CUE キーの長押し）でグループ間の垣根をなくして全員と連絡を取り合うことができます



- “2G A/B” : A-ch と B-ch を手動で切り替えます
- ・テレポートキーを短押しするたびに A-ch と B-ch が切り替わります
 - ・▼キーを押すと A-ch、▲キーを押すと B-ch になります
- 管理者 “2G MG” : A-ch と B-ch の両方の受信音声と同時に聞くことができます
- 送信は A-ch と B-ch のどちらかを手動で選択します
- ・テレポートキーを短押しするたびに A-ch と B-ch が切り替わります
 - ・▼キーを押すと A-ch、▲キーを押すと B-ch になります

デュオモード（1グループオペレーション）

全員の設定を“1G”にすると、一つのグループで常に情報を送信しながら、メンバーがその間に割り込み通信を行う必要があるような業務に最適です

- “1G” : A-ch と B-ch の両方の受信音声と同時に聞くことができます
- 送信は A-ch と B-ch を自動で切り替えます

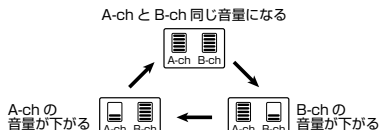


- ・混信があった時はテレポートキーの**長押し**で、メンバー全員のチャンネルを自動的に混信のないチャンネルへ移動することができます
 - ・他人の声が聞こえる時は、グループ ID を変更します
- 変更の方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える”（15 ページ）をお読みください
- ・通話ができないときは、エアクローンで全ての SRD790/795 の設定を同期してください
- エアクローンの方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（16 ページ）をお読みください

PCA 機能（2つの音声が同時に聞こえたとき片方の音声を調節して聞きやすくする）

管理者が受信中に2つの音声が同時に聞こえたときは、音声を聞きながらアクセスキーを押すと片方の音量を調節することができます

アクセスキーを押すたびに音量が右図ようになります

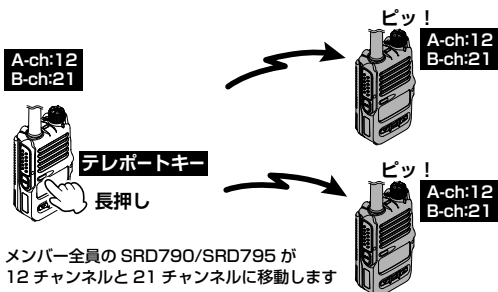
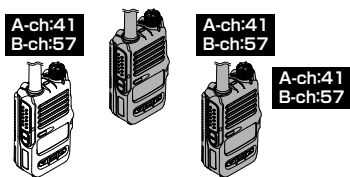


混信があるときにテレポートキーの長押しで、A-ch と B-ch のチャンネルを自動で混信が起こりにくいチャンネルと入れ換えます（テレポート機能）

例： A-ch：41 で使用中
B-ch：57



一人がテレポートキーを長押しします



所属グループ設定を“1G”にして運用時は、混信が多いときは画面に“テレポート推奨”と表示されテレポート機能を使ってチャンネルを変えることを推奨します

ノーマルモード

YAESU コネクトの機能を持たないトランシーバーと通話をする時のモードです

ノーマルモード時の説明は 35 ページを参照してください

① 運用モードを変更

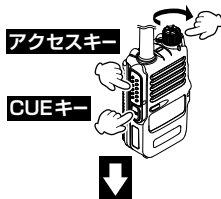
4つのモードの中から、業務にあわせてモードを選ぶことができます

- ・モードはグループ内のすべてのトランシーバーを同じにします
- ・1台のSRD790/795を設定してから、エアクローン機能を使って他のSRD790/795を自動で同じモードに同期します

モードを変える準備を行う

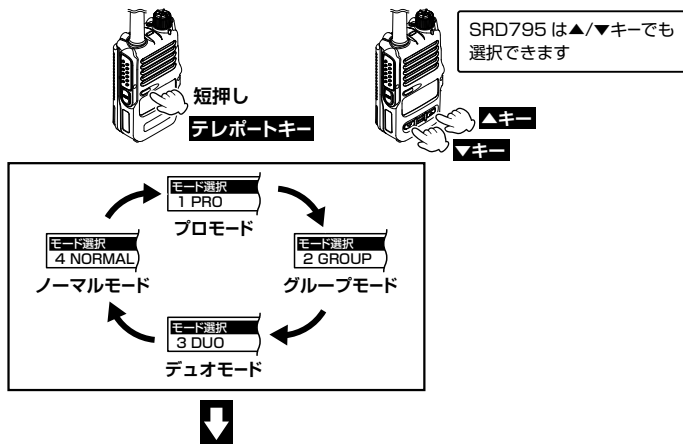
- ① 1台のトランシーバーでCUEキーとアクセスキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



モードを変える

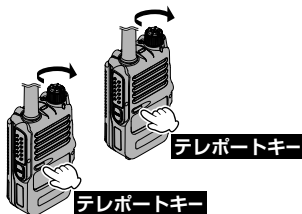
- ② テレポートキーを短押ししてモードを選びます



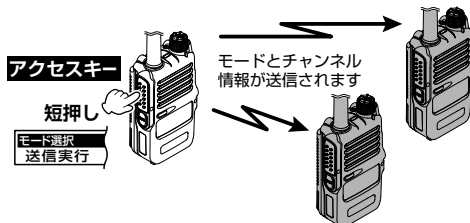
エアクローンで同期する

- ③ 他のSRD790/795をテレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



- ④ モードを変えたSRD790/795のアクセスキーを短押しします
情報が転送されて全てのSRD790/795が自動で同じモードになります

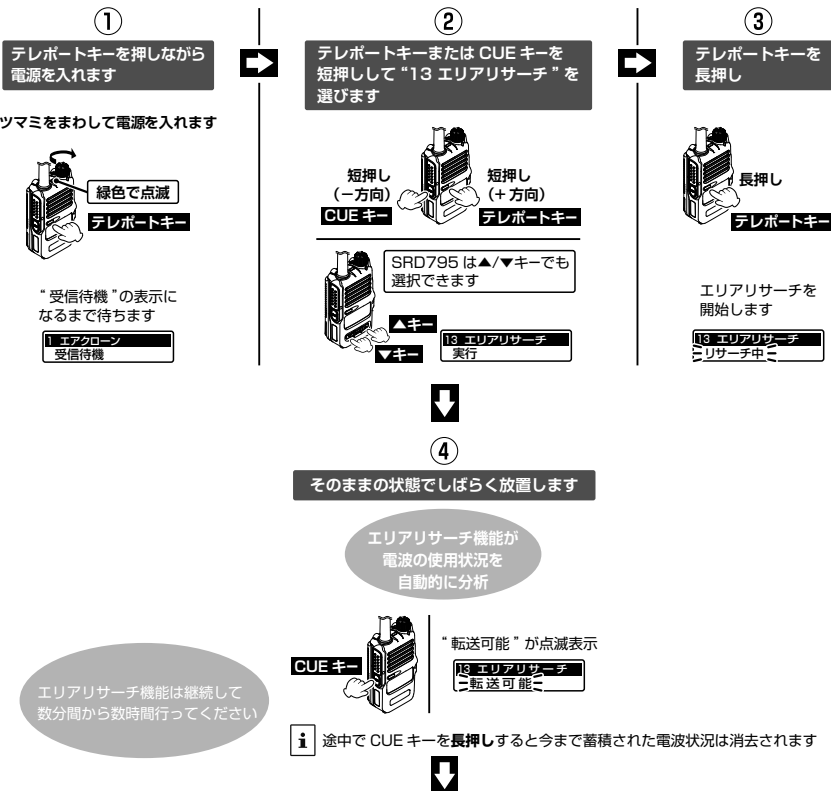


② エリアリサーチによるチャンネル設定

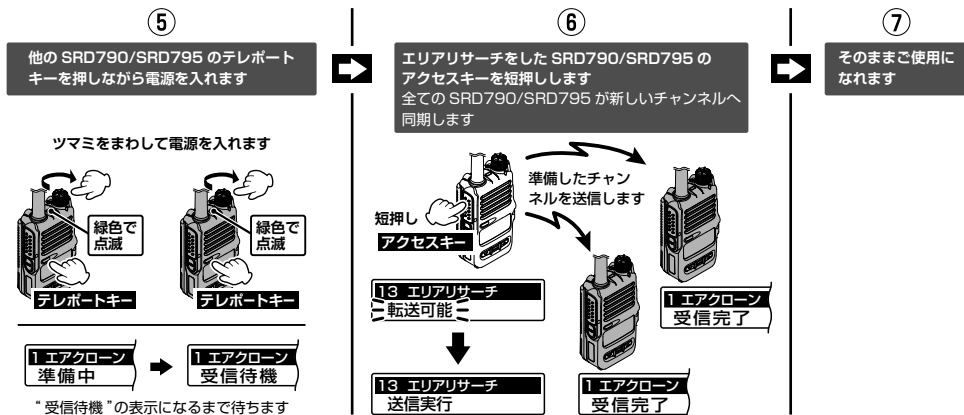
エリアリサーチ機能は、使用するエリアの電波状態を分析して、あらかじめ混信が起こりにくいチャンネルを選ぶことができます

使用する前にエリアリサーチ機能を使って混信の少ないチャンネルを見つけます

1 台の SRD790/795 でエリアリサーチを始める



他の SRD790/795 にチャンネル情報を同期する



基本的な通話のしかた

送信する時

アクセスキーを押しながら
スピーカーに向かって話します



話が終わったらアクセスキーを放します
“ビビッ”と音がして受信に戻ります

受信する時

ツマミをまわして聞き
やすい音量に調節します

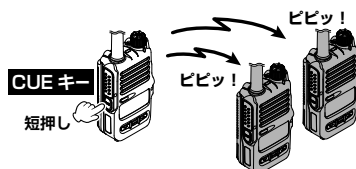


便利な機能

CUE（キュー）機能でメンバーに合図を送る

接客中などに、接客相手にわからないようにメンバーに合図を送ることができます

アラーム音などを変更することができます。設定の変更方法は
応用編の“CUE 機能に関する設定”（24 ページ）を参照し
てください



ロック機能（SRD795/SRD795-BT のみ）

アクセスキー以外のキーをロックすることができます

[▼] キーを**長押し**すると各キーをロックします
もう一度 [▼] キーを**長押し**するとロックを解除します



YAESU コネクトで使用するチャンネルについて

本機の工場出荷は、A-ch ～ L-ch には以下のチャンネルが設定されています

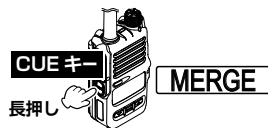
A-ch	B-ch	C-ch	D-ch	E-ch	F-ch	G-ch	L-ch
41	57	12	20	43	61	06	32

MERGE（マージ）機能（所属グループの垣根を取り払って全員と連絡を取り合う）

グループモードとデュオモードで機能します

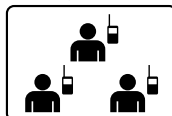
CUE キーを**長押し**すると、グループ全員と連絡をとることができます

1. CUE キーを**長押し**します → “MERGE” の表示になったら放します
2. アクセスキーを押して話すと、全てのグループ全員と連絡がとれます
送信中は “MERGE” の表示が点滅します
3. 再び CUE キーを**長押し**すると、各グループごとの通話に戻ります
もとのグループチャンネル表示に戻ります

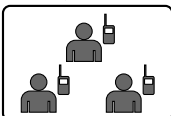


グループで別々に通話ができます

グループ A



グループ B



誰か 1 人が
CUE キーを長押し



グループの垣根を無くして全員で通話ができます



③ 簡易機能の変更 (SRD795 シリーズのみ)

使用頻度の高い 13 種類の設定項目をすぐに呼び出し変更することができます

①

[-] キーを長押しします

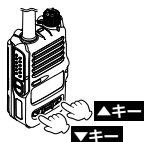


設定項目が表示されます



②

▼キーまたは▲キーを短押しして設定する項目を選びます



③

テレポートキーを長押し

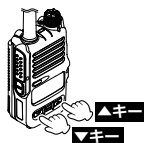


現在の設定が点滅します



④

▼キーまたは▲キーを短押しして設定を選択します



⑤

テレポートキーを長押し
設定項目に戻ります



設定が反映されます



⑥

アクセスキーを短押しします
通常の運用画面に戻ります



基本的な使いかた (各モード共通)

簡易設定で変更できる項目

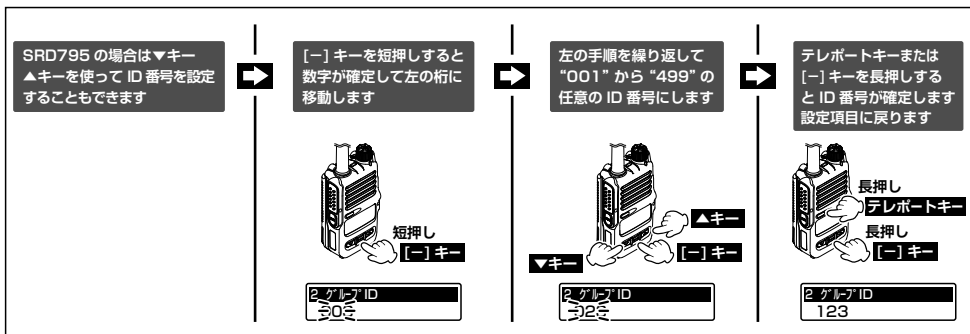
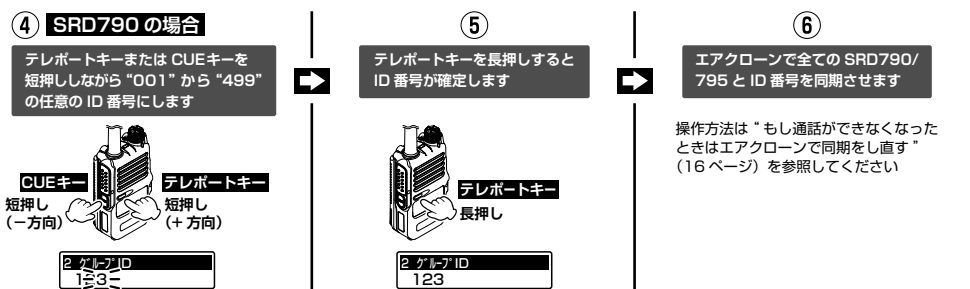
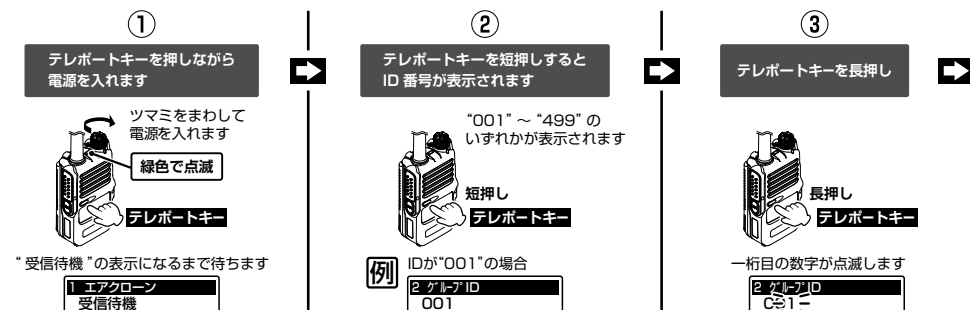
機能項目	出荷時の設定	機能
1 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯します OFF 画面とキーの照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します 全消灯 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯しなくなります。明かりの使用を制限された特別な環境で使用する時のみ設定してください
2 ビープ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
3 CUE ビープ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
4 受信ビープ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
5 送信ビープ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
6 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
7 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
8 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	ブレスツートーク	ブレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります ハンズフリー感度小 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします ハンズフリー感度中 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います ハンズフリー感度大 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします 連続送信 キーを 短押し すると送信を開始し、もう一度 短押し するまで送信を続けます 受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります
9 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ～レベル 15（数字が大きいくほど明るくなります）
10 ノイズキャンセル 送信時に周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信することができる機能をオン/オフすることができます	感度大	OFF ノイズキャンセル機能をオフにします 感度小 比較的静かな環境で使用する時は“感度小”にします 感度中 周りの騒音が気になる場合は“感度中”にします 感度大 周りの騒音が激しい環境で使用する時は“感度大”にします
11 ブルートゥース (Bluetooth 対応モデルのみ表示されます) Bluetooth 機能をオン/オフすることができます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
12 ブルートゥースマイク感度 (11 ブルートゥースが ON の時のみ表示されます) Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
13 ブルートゥース初期化 (11 ブルートゥースが ON の時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化することができます		1. “13 ブルートゥース初期化”にあわせます 2. テレポートキーを 長押し します → “実行する” が点滅します 3. テレポートキーを 長押し します → “初期化完了” が点灯 → “11 ブルートゥース” の項目が表示されたら初期化は終了です

グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える

- ・グループ ID は、その信号がメンバーの信号かどうかを判断する時に使いますので、メンバー全員が同じグループ ID 番号にする必要があります
- ・工場出荷時はグループ ID が“001”になっています（他のグループの音が聞こえるような場合はグループ ID を変えてください）
- ・ID が異なる他のグループの信号が入ると、プロモードでは自動で混信のないチャンネルへ移動します。グループモードとデュオモードでは ID が異なる信号はミュートになり聞こえません



1 台のグループ ID を変更してからエアクローンで全てを新しいグループ ID に同期する



もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す

グループのメンバーと通話ができなくなった場合や、通話に関する設定を変えたときは、エアクローンで同期をとることで再び通話ができるようになります

①

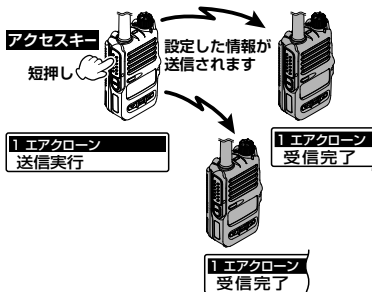
全ての SRD790/795 でテレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



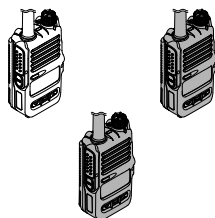
②

一台の SRD790/795 のアクセスキーを短押しすると全ての SRD790/795 が同期されます



③

全ての SRD790/795 が同期されて通話ができるようになります



応用編

本機を便利に使用するため、必要に応じて各種設定を変更することができます

④ テレポート機能を変更する（通常は変更する必要はありません）

①

テレポートキーを押しながら電源を入れます



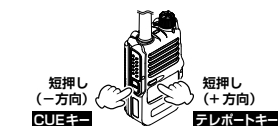
1 エアクローン
準備中

↓
"受信待機"の表示になるまで待ちます

1 エアクローン
受信待機

②

テレポートキーまたは CUE キーを短押しして設定する項目を選びます



SRD795 は▲/▼キーでも選択できます

A-chを選んだ場合の表示

▲キー 5 A-ch
▼キー CH41

③

テレポートキーを長押し



現在の設定値が点滅します

5 A-ch
CH41

④

テレポートキーまたは CUE キーを短押しして設定値を変えます



SRD795 は▲/▼キーでも選択できます

▲キー 5 A-ch
▼キー CH54

⑤

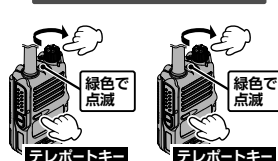
テレポートキーを長押しすると設定を確認します
設定項目に戻ります



5 A-ch
CH54

⑥

他の SRD790/SRD795 の
テレポートキーを押しながら電源を入れます

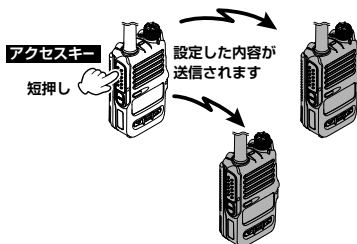


1 エアクローン
受信待機

"受信待機"の表示になるまで待ちます

⑦

設定を変えた SRD790/SRD795 の
アクセスキーを短押ししてエアクローンで
他の SRD790/SRD795 を同期させます



⑧

そのままご使用に
なれます

プロモードの時のテレポート機能の項目リスト

グループ内の全てのSRD790/SRD795の設定内容を同期したり、必要に応じて混信を気にせずに通信できる各種の設定を変更します

テレポートキーを押しながら電源を入れると、設定モードになります

項目	出荷時の設定	機能と表示
1 エアクローン 1 台の SRD790/795 で設定した内容を他の SRD790/795 にコピーすることができます	—	1 エアクローン 受信待機 1 エアクローン 送信実行 1 エアクローン 受信完了 操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（16 ページ）を参照してください
2 グループ ID 同じグループであることを識別する ID 番号です。ID 番号が違くと通話ができません。他のグループが同じ ID 番号を使っていて混信が起る場合は、ID 番号を変えます	2 グループ ID 001	2 グループ ID 001 2 グループ ID 499 “001”～“499”の中から選びます 操作方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える”（15 ページ）を参照してください
3 テレポート送信 チャンネルを手動で変更できないようにすることができます	3 テレポート送信 ON (通常は ON で使用します)	3 テレポート送信 ON 3 テレポート送信 OFF 混信があると自動で混信のないチャンネルに移動します。チャンネルは手動でも移動できます 混信があると自動で混信のないチャンネルに移動します。チャンネルは手動で変えることはできません
5 A-ch ～ 12 L-ch A-ch から L-ch のそれぞれに設定されたチャンネルを手動で変えることができます	5 A-ch CH41 6 B-ch CH57 7 C-ch CH12 8 D-ch CH20 9 E-ch CH43 10 F-ch CH61 11 G-ch CH06 12 L-ch CH32	5 A-ch CH01 5 A-ch CH82 “CH01”～“CH82”の中から選びます - すでに他の ch (A-ch ～ G-ch、L-ch) に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません “CH15”は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません チャンネルの変更方法は“マニュアルでチャンネルを変える”（22 ページ）を参照してください
13 エリアリサーチ 現在のエリアの電波状態を分析して、A-ch ～ L-ch の全てのチャンネルを混信が起りにくいチャンネルに変更します	13 エリアリサーチ 実行	13 エリアリサーチ ニリサーチ中 13 エリアリサーチ ニ転送可能 エリアリサーチ中 (点滅) 使用状況の分析完了 (点滅) 13 エリアリサーチ 送信実行 13 エリアリサーチ 送信完了 他の無線機に送信中 他の無線機に送信完了 操作方法は“② エリアリサーチによるチャンネル設定”（10 ページ）を参照してください

グループモードの時のテレポート機能の項目リスト

項目	出荷時の設定	機能と表示
1 エアクローン 1 台の SRD790/795 で設定した内容を他の SRD790/795 にコピーすることができます	—	1 エアクローン 受信待機 1 エアクローン 送信実行 1 エアクローン 受信完了 操作方法は「もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す」(16 ページ)を参照してください
2 グループ ID 同じグループであることを識別する ID 番号です。ID 番号が違っていると通話できません。他のグループが同じ ID 番号を使っている場合、ID 番号を変えます	2 グループ ID 001	2 グループ ID 001 2 グループ ID 499 “001” ~ “499” の中から選びます 操作方法は「グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える」(15 ページ)を参照してください
5 GA-ch ~ 12 GL-ch 7 つのグループから使用しないグループを消すことができます GA-ch から GL-ch のそれぞれに設定されたチャンネルを手動で変えることができます	5 GA-ch CH41 6 GB-ch CH57 7 GC-ch CH12 8 GD-ch CH20 9 GE-ch CH43 10 GF-ch CH61 11 GG-ch CH06 12 GL-ch CH32	必要なグループチャンネルだけを表示するようにできます (5 GA-ch と 12 GL-ch は非表示にできません) 操作方法は「必要のないグループを消去する方法」(6 ページ)を参照してください 5 GA-ch ~ 12 GL-ch に設定されたチャンネルを手動で変えることができます 5 GA-ch CH01 5 GA-ch CH82 “CH01” ~ “CH82” の中から選びます - すでに他の ch (GA-ch ~ GG-ch, GL-ch) に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません “CH15” は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません チャンネルの変更方法は「マニュアルでチャンネルを変える」(22 ページ)を参照してください
13 エリアリサーチ 現在のエリアの電波状態を分析して、GA-ch ~ GL-ch の全てのチャンネルを混信が起こりにくいチャンネルに変更します	13 エリアリサーチ 実行	13 エリアリサーチ リサーチ中 13 エリアリサーチ 転送可能 エリアリサーチ中 (点滅) 使用状況の分析完了 (点滅) 13 エリアリサーチ 送信実行 13 エリアリサーチ 送信完了 他の無線機に送信中 他の無線機に送信完了 操作方法は「② エリアリサーチによるチャンネル設定」(10 ページ)を参照してください

デュオモードの時のレポート機能の項目リスト

項目	出荷時の設定	機能
1 エアクローン 1 台の SRD790/795 で設定した内容を他の SRD790/795 にコピーすることができます	—	1 エアクローン 受信待機 1 エアクローン 送信実行 1 エアクローン 受信完了 操作方法は「もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す」（16 ページ）を参照してください
2 グループ ID 同じグループであることを識別する ID 番号です。ID 番号が違くと通話できません。他のグループが同じ ID 番号を使っている場合は、ID 番号を変えます	2 グループ ID 001	2 グループ ID 001 2 グループ ID 499 “001” ～ “499” の中から選びます 操作方法は「グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える」（15 ページ）を参照してください
3 テレポート送信 混信があるときにテレポートキーを長押しすると、自動で混信が起こりにくいチャンネルに移動する機能を動作をオフにします	3 テレポート送信 ON	3 テレポート送信 ON 3 テレポート送信 OFF テレポートキーを長押しすると自動で混信が起こりにくいチャンネルに移動します（通常は ON で使用します） テレポート機能は動作しません
4 所属 GRP 2 グループオペレーション 所属グループ 2G A/B テレポートキーまたは▼/▲キーを押して手動でグループ A、グループ B のどちらかに切り替えて通信を行います 所属グループ 2G MG グループ A、グループ B の同時受信が可能で、送信はテレポートキーまたは▼/▲キーを押して手動で切り替えます 1 グループオペレーション 所属グループ 1G グループ A、グループ B の同時受信が可能で、送信は自動で切り替わります	4 所属 GRP 2G A/B	2 グループオペレーション 4 所属 GRP 2G A/B 4 所属 GRP 2G MG 受信、送信共にテレポートキーを押して手動で切り替え 受信：A-ch と B-ch の同時受信可能 送信：A-ch と B-ch を手動で切り替え 1 グループオペレーション 4 所属 GRP 1G 受信：A-ch と B-ch の同時受信可能 送信：A-ch と B-ch を自動で切り替え
5 A-ch ～ 12 L-ch A-ch から L-ch のそれぞれに設定されたチャンネルを手動で変えることができます	5 A-ch CH41 6 B-ch CH57 7 C-ch CH12 8 D-ch CH20 9 E-ch CH43 10 F-ch CH61 11 G-ch CH06 12 L-ch CH32	5 A-ch CH01 5 A-ch CH82 “CH01” ～ “CH82” の中から選びます - すでに他の ch (A-ch ～ G-ch、L-ch) に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません “CH15” は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません チャンネルの変更方法は「マニュアルでチャンネルを変える」（22 ページ）を参照してください
13 エリアリサーチ 現在のエリアの電波状態を分析して、A-ch ～ L-ch の全てのチャンネルを混信が起こりにくいチャンネルに変更します	13 エリアリサーチ 実行	13 エリアリサーチ リサーチ中 13 エリアリサーチ 転送可能 エリアリサーチ中（点滅） 使用状況の分析完了（点滅） 13 エリアリサーチ 送信実行 13 エリアリサーチ 送信完了 他の無線機に送信中 他の無線機に送信完了 操作方法は「② エリアリサーチによるチャンネル設定」（10 ページ）を参照してください

マニュアルでチャンネルを変える（通常は変える必要はありません）

A-ch ～ G-ch（グループモードでは GA-ch ～ GG-ch）には出荷時に予め任意のチャンネルが設定されていますが、それぞれのチャンネルを 01 ～ 82 の中から選んで変更することができます

変更する方法は、エリアリサーチ機能を使って自動で新たにチャンネルを設定するか、手動でチャンネルごとに希望するチャンネルを設定する方法があります

① エリアリサーチで設定する

エリアリサーチの方法は“② エリアリサーチによるチャンネル設定”（10 ページ）を参照してください

② 手動で設定する

始めに 1 台のチャンネルを変更する

1. 一度電源を切ります
2. テレポートキーを押しながら電源を入れます

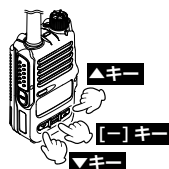
3. SRD790 の場合

- 1) テレポートキー / CUE キーを**短押し**して変更したいチャンネルを選びます
- 2) テレポートキーを**長押し**します（チャンネル番号が点滅します）
- 3) テレポートキー / CUE キーを**短押し**してチャンネルを変えます
- 4) テレポートキーを**長押し**します（チャンネル番号が点滅から点灯に変わります）



SRD795 の場合

- 1) [▼]/[▲] キーを**短押し**して変更したいチャンネルを選びます
- 2) [－] キーを**長押し**します（チャンネル番号が点滅します）
- 3) [▼]/[▲] キーを**短押し**してチャンネルを変えます
- 4) [－] キーを**長押し**します（チャンネル番号が点滅から点灯に変わります）



4. 下記の“エアクローン”で、他の SRD790/795 へ変更したチャンネルをコピーします



次に他の SRD790/795 へ変更したチャンネルをエアクローンで同期する

①

全ての SRD790/SRD795 の
テレポートキーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



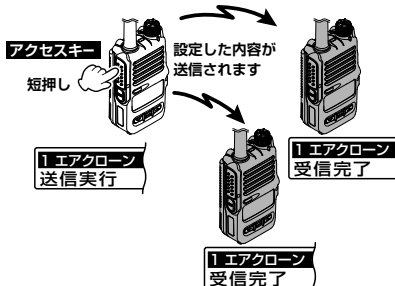
1 エアクローン
準備中

1 エアクローン
受信待機

“受信待機”の表示になるまで待ちます

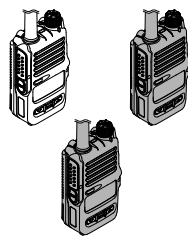
②

チャンネルを変えた SRD790/SRD795 の
アクセスキーを短押しします



③

全ての SRD790/SRD795 が
自動で電源がオフになりその後
自動で電源がオンになります



全ての SRD790/SRD795 が
同じチャンネルになります



- ・すでに他の ch に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません
- ・“CH15”は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません

グループチャンネルに名前を付けて表示する

グループモード時の画面に表示されるチャンネルに、名前を付けて表示することができます
専用のエディターを使用しますので、ご希望の場合はお買い上げいただきました弊社代理店にご相談ください

GA41

通常のグループチャンネル表示



CH41
レストラン

名前を付けた場合の表示

ワンクリックハンズフリー機能

- ・アクセスキーを“チョン”と押すだけで送信がスタートして、話をしている間は送信を続け、話すのをやめると自動で受信に戻る“ワンクリックハンズフリー”を使用すると、両手で作業をしながら通話ができますので効率よく作業を行うことができます
周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります
- ・オプションのタイピンマイク、スピーカーマイクをご使用ください

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー※¹を短押しして“8 アクセスキー動作”を選びます
3. テレポートキー※²を長押しします
4. テレポートキーまたは CUE キー※¹を短押ししてハンズフリーの感度を選びます（下記参照）
5. テレポートキー※²を長押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

※ 1 : SRD795 の場合は [▼]/[▲] キーでも可

※ 2 : SRD795 の場合は [－] キーでも可

8 アクセスキー動作
プレスツートーク



ワンクリックハンズフリー機能の感度を調節する

話をやめたのに受信状態に戻らない時や、逆に話をしているのに受信状態に戻ってしまう場合は、感度を変えてください

通常はこの設定で使用します



8 アクセスキー動作
ハンズフリー感度中

話をやめたのに受信状態に戻らない場合



8 アクセスキー動作
ハンズフリー感度小

話をしているのに受信状態に戻ってしまう場合



8 アクセスキー動作
ハンズフリー感度大

マイクの感度を変える

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時は、機能設定項目で内部マイクおよび外部マイク使用時は外部マイクのマイク感度を変えることができます

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を**短押し**して、設定する項目（下記参照）を選びます
3. テレポートキー^{※2}を**長押し**します
4. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を**短押し**して、設定を変えます
5. テレポートキー^{※2}を**長押し**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

※1：SRD795 の場合は [▼]/[▲] キーでも可

※2：SRD795 の場合は [－] キーでも可



◎ **マイクの感度を設定する** → 全体設定項目の「6 マイク感度」で設定します



マイク感度は **LOW 1** ↔ **LOW 2** ↔ **MID** ↔ **HIGH 1** ↔ **HIGH 2** から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は「MID」に設定されています

◎ **外部マイクを使っている時のマイク感度を設定する**

→ 全体設定項目の「7 外部マイク感度」で設定します



マイク感度は **LOW 1** ↔ **LOW 2** ↔ **MID** ↔ **HIGH 1** ↔ **HIGH 2** から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は「MID」に設定されています

CUE 機能に関する設定

CUE 機能に関する設定をすることができます

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を**短押し**して、設定する項目（下記参照）を選びます
3. テレポートキー^{※2}を**長押し**します
4. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を**短押し**して、設定を変えます
5. テレポートキー^{※2}を**長押し**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

※1：SRD795 の場合は [▼]/[▲] キーでも可

※2：SRD795 の場合は [－] キーでも可



◎ **CUE 信号を受信した時のアラーム音量を調節する**

→ 全体設定項目の「3 CUE ビープ音量」で設定します



ビープの音量は **OFF** ↔ **LOW** ↔ **MID** ↔ **HIGH 1** ↔ **HIGH 2** から選べます
音量オフ 音量小 音量大

工場出荷時は「HIGH 1」に設定されています

◎ **CUE 信号を受信した時のアラーム音の種類を変更する**

→ 全体設定項目の「F4 CUE ビープ音」で設定します



アラーム音の種類は「TYPE-A」（工場出荷時の設定）「TYPE-B」「TYPE-C」の3種類から選べます

◎ **CUE 信号送信のオン/オフ** → 全体設定項目の「F3 CUE 送信」で設定します



ON：CUE キーを押すと CUE 信号を送信します（工場出荷時の設定）

OFF：CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません

Bluetooth ヘッドセットでワイヤレス通信を行う (SRD790-BT、SRD795-BT のみ)

オプションの Bluetooth ヘッドセット “SSM-BT20” を使用して、ケーブルの無いハンズフリー運用ができます



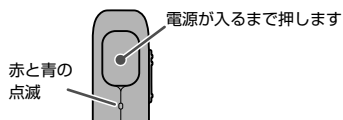
市販の Bluetooth ヘッドセットも使用できますが、すべての Bluetooth ヘッドセットの動作を保証するものではありません。当社の “SSM-BT20” のご使用をお勧めします

Bluetooth ヘッドセットを使用するには、本機への登録（ペアリング）が必要です
この操作は最初に一度だけ必要で、次回からはトランシーバーとヘッドセットの電源を入れるだけで、自動で接続されます

SSM-BT20 のマルチファンクションキーを**長押し**してペアリングモードにします

LED が赤と青で点滅します

続けてトランシーバー側の設定を行います



①

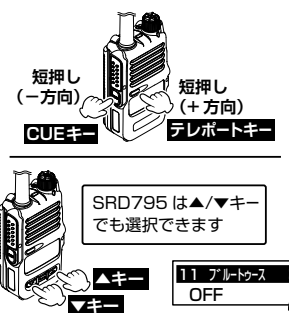
CUE キーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



②

テレポートキーまたは
CUE キーを短押しして
“11 ブルートゥース” を選びます



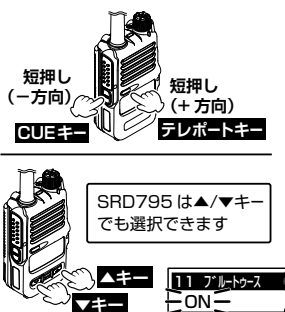
③

テレポートキーを長押し
します



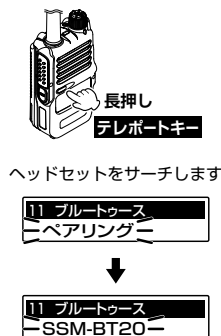
④

テレポートキーまたは
CUE キーを短押しして
“ON” にします



⑤

テレポートキーを長押し
します



⑥

テレポートキーを長押し
します

接続するヘッドセットが表示され
たらテレポートキーを**長押し**します



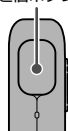
トランシーバーと Bluetooth ヘッドセットが接続中は “✳” が点灯します



Bluetooth ヘッドセットでハンズフリー運用をする

送信ボタン（マルチファンクションボタン）を**短押し**して“プツ”と音がしたら話します
話すのをやめると“ビピッ”と音がして自動で受信に戻ります

送信ボタン



まわりの声や騒音などで、話が終わっても受信に戻らないときがあります。その場合は、もう一度送信ボタンを押すと受信に戻ります

Bluetooth ヘッドセットのマイクの感度を変える

Bluetooth ヘッドセットを使用している時に相手から「声が小さい」「声大きい」と言われた時は、Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を変えることができます

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー※¹を**短押し**して“12 ブルートゥースマイク感度”を選びます
3. テレポートキー※²を**長押し**します
4. テレポートキーまたは CUE キー※¹を**短押し**して、設定を変えます

マイク感度は LOW 1 ↔ LOW 2 ↔ MID ↔ HIGH 1 ↔ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“MID”に設定されています

5. テレポートキー※²を**長押し**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

※ 1 : SRD795-BT の場合は [▼]/[▲] キーでも可

※ 2 : SRD795-BT の場合は [－] キーでも可



Bluetooth に関する設定だけを初期化（リセット）する

Bluetooth ヘッドセットを変えたり使わない時は、Bluetooth に関する設定だけをリセットできます。他の設定はリセットされません

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー※¹を**短押し**して“13 ブルートゥース初期化”を選びます
3. テレポートキー※²を**長押し**します
“実行する”の表示が点滅します
4. テレポートキー※²を**長押し**すると初期化を行います
“初期化中” → “初期化完了” と表示が変わります
5. “11 ブルートゥース”の表示になったら、初期化は完了です
6. アクセスキーを**短押し**します（自動で電源がオフ → オンになります）

※ 1 : SRD795-BT の場合は [▼]/[▲] キーでも可

※ 2 : SRD795-BT の場合は [－] キーでも可



⑤ 全体設定

30種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます

①

CUE キーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



CUEキー

設定項目が表示されます

例 1 バックライト
ON

②

テレポートキーまたは
CUE キーを短押しして
設定する項目を選びます



短押し
(-方向)
CUEキー

短押し
(+方向)
テレポートキー

SRD795 は▲/▼キー
でも選択できます

▲キー

▼キー

③

テレポートキーを長押し



長押し
テレポートキー

現在の設定が点滅します

2 ビープ音量
HIGH 1

④

テレポートキーまたは
CUE キーを短押しして
設定値を変えます



短押し
(-方向)
CUEキー

短押し
(+方向)
テレポートキー

SRD795 は▲/▼キー
でも選択できます

▲キー

▼キー

⑤

テレポートキーを長押し
設定項目に戻ります



長押し
テレポートキー

設定が反映されます

2 ビープ音量
OFF

⑥

アクセスキーを短押し



短押し
アクセスキー

自動で電源がオフ → オンになり
通常の運用画面になります

機能項目	出荷時の設定	機能
1 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯します OFF 画面とキーの照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します 全消灯 画面、キーの照明、LED インジケータが点灯しなくなります 明かりの使用を制限された特別な環境で使用する時のみ設定してください
2 ビープ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
3 CUE ビープ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大

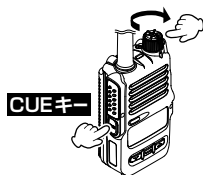
機能項目	出荷時の設定	機能
4 受信ビープ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
5 送信ビープ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
6 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
7 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
8 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	プレスツートーク	プレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります ハンズフリー感度小 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします ハンズフリー感度中 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います ハンズフリー感度大 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします 連続送信 キーを 短押し すると送信を開始し、もう一度 短押し するまで送信を続けます 受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります
9 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ～レベル 15（数字が大きいくほど明るくなります）
10 ノイズキャンセル 送信時に周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信することができる機能をオン/オフすることができます	感度大	OFF ノイズキャンセル機能をオフにします 感度小 比較的静かな環境で使用する時は“感度小”にします 感度中 周りの騒音が気になる場合は“感度中”にします 感度大 周りの騒音が激しい環境で使用する時は“感度大”にします
11 ブルートゥース (Bluetooth 対応モデルのみ表示されます) Bluetooth 機能をオン/オフすることができます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
12 ブルートゥースマイク感度 (11 ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
13 ブルートゥース初期化 (11 ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化することができます		1. “13 ブルートゥース初期化”にあわせます 2. テレポートキーを 長押し します → “実行する”が点滅します 3. テレポートキーを 長押し します → “初期化完了”が点灯 → “11 ブルートゥース”の項目が表示されたら初期化は終了です
F1 受信ビープ音 受信時に相手の通話開始・終了を確認するビープ音をオフにすることができます	ON (始/終)	ON (開始) 相手の通話を受信開始した時だけビープ音が鳴ります ON (終了) 相手の通話が終了した時だけビープ音が鳴ります ON (始/終) 受信開始と受信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません
F2 送信ビープ音 送信時に自分の通話開始・終了を確認するビープ音を鳴らすことができます	ON (終了)	ON (開始) 送信を開始した時だけビープ音が鳴ります ON (終了) 送信が終了した時だけビープ音が鳴ります ON (始/終) 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません
F3 CUE 送信 CUE 信号の送信機能をオフにすることができます	ON	ON CUE キーを押すと CUE 信号を送信します（通常はこの状態で使います） OFF CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません

機能項目	出荷時の設定	機能
F4 CUE ビープ音 CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音を選択できます	TYPE-A	好みにあわせて 3 パターン (TYPE-A / TYPE-B / TYPE-C) から選択することができます
F5 外部マイク接続時 外部マイクを接続した時に、本体のアクセスキーを無効にすることができます	アクセスキー有効	アクセスキー有効 外部マイクを接続してもトランシーバー本体のアクセスキーは有効です アクセスキー無効 外部マイクを接続すると、トランシーバー本体のアクセスキーは無効になります 本体マイク有効 イヤピースや外部マイクを接続したとき、トランシーバー本体のマイクが有効になります
F6 バッテリーセーブ バッテリーの消費を抑える機能のオン / オフを選択できます	OFF	ON バッテリーセーブ機能がオンになります OFF バッテリーセーブ機能がオフになります
F7 オートパワーオフ 一定時間何も操作を行わない場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定することができます	OFF	OFF 自動で電源はオフになりません (通常はこの状態で使用します) 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 8 時間 選択した時間何も操作を行わないと自動的に電源が切れます
F8 送信出力 送信出力を下げてバッテリーの持続時間を延ばすことができます	HIGH (5W)	HIGH (5W) / LOW (1W) / MID (2.5W)
F9 RX イコライザー 受信音を好みの音質に変更することができます	高域強調	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
F10 TX イコライザー 送信音を好みの音質に変更することができます	OFF	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
F11 秘話 他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます (秘話通信)	OFF	OFF 秘話機能は動作しません (通常はこの状態で使います) ON 秘話機能が動作します
F12 秘話コード 秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
F13 PA 送信 構内アナウンス用スピーカーから音声を出すことができます	ON	ON PA 送信機能がオンになります OFF PA 送信機能がオフになります
F14 自動送信延長 送信時間制限を回避するため、送信が中断する前に自動でチャンネルを移動して通話を続けることができる機能をオン / オフします	ON	ON 自動的にチャンネルを変更して通話を続けることができます プロモードとデュオモードの“1G”の時のみ機能します OFF 5 分間連続して送信すると送信が中断し、その後 1 分間は送信できなくなります
F15 設定内容転送 セットモードの内容を他の SRD790/795 にコピーすることができます		1. 設定を送るトランシーバーと受けるトランシーバーを“F15 設定内容転送”にあわせませ (準備中) の表示が“受信待機”になるまで待ちます 2. 設定を送るトランシーバーのアクセスキーを短押しします “送信実行”が表示されます 3. コピーが終了すると設定を受けた側のトランシーバーが自動で電源がオフになり、その後自動で電源がオンになります 4. 設定を送った側のトランシーバーは、手動で電源を入れなおしてください
F16 設定リセット 全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます		1. “F16 設定リセット”にあわせませ 2. テレポートキーを長押しします → “実行する”が点滅します 3. テレポートキーを長押しします → “リセット完了”が点灯 → 自動で電源がオフになりその後自動で電源がオンになります

正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す（リセット）

CUE キーを押しながら
電源を入れます

つまみをまわして
電源を入れます



テレポートキーまたは CUE キーを
短押しして “F16 設定リセット” を
選びます



SRD795 は▲/▼キーでも選択できます



テレポートキー 長押し



F16 設定リセット
実行する



テレポートキー 長押し



F16 設定リセット
リセット完了

工場出荷時の状態に戻ります

故障かな?と思う前に

間違った操作をしていませんか?修理を依頼される前にお確かめください

- ◎ 電源が入らない!
 - ・リチウムイオンバッテリーが消耗していませんか?
→ リチウムイオンバッテリーを充電してください
 - ・リチウムイオンバッテリーの端子が接触不良になっていませんか?
→ 端子を乾いた布で拭いてください
 - ・リチウムイオンバッテリーが古くなっていませんか?
→ リチウムイオンバッテリーの寿命です。新しいリチウムイオンバッテリーとお取り替えください
- ◎ 送信できない!
 - ・アクセスキーを正しく押していますか?
 - ・アクセスキー動作が“受信専用”になっていませんか?
- ◎ 音がでない!
 - ・相手局と同じグループ ID に設定していますか?
- ◎ 通話できない!
 - ・相手局と同じチャンネルに設定していますか?
 - ・相手局との距離が離れすぎていませんか?
 - ・相手局と同じグループ ID に設定していますか?
 - ・秘話通信機能が動作していませんか?
→ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと通話できません
- ◎ “ロック中” と表示されてキー操作ができない!
 - ・ロック機能 (SRD795 のみ) が動作しています、[▼] キーを長押ししてロック機能を解除してください

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください
製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします

八重洲無線株式会社

〒140-0013

東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F

TEL: 03-6404-6525

- ◎ 保証期間はお買い上げの日より 3 年間で
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします
誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります
- ◎ リチウムイオンバッテリーは消耗品のため保証対象外です
化学的経年劣化なども保証対象外になります
- ◎ リチウムイオンバッテリーは消耗品です
充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合はリチウムイオンバッテリーの寿命です

防水性能について

本機は、IEC 国際規格 IP68 相当 (防塵等級 6^{*1}、防水等級 8^{*2}) の防塵、防水性能を有しています。この性能を永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください

- ◎ キーやボタンのラバー、MIC/SP 端子のアクセサリコネクタ保護カバー、リチウムイオンバッテリー接合部分などに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください
- ◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください
- ◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください
- ◎ 本機は、水中での使用はできません

※ 1 : 粉塵が内部に侵入しない

※ 2 : 水深 1.5m に 30 分間没しても有害な影響を受けないこと

電波干渉について

近距離で複数のグループの人が、複数のチャンネルを使用して通話するような場合に、隣り合うチャンネル同士の電波の干渉により、通話に支障が生じることがあります。このような時は、隣り合うチャンネル（例：“CH01”と“CH02”）でのご使用を避けていただき、離れたチャンネルを設定していただくことで、干渉を軽減することができます

2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意

本製品の Bluetooth を使用して通信をするときは、以下のことに注意してください
この通信の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています

- (1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい
- (2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか Bluetooth のご使用をお控えください
- (3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社国内営業部（電話 03-6404-6525）にお問い合わせください

本製品の Bluetooth の使用周波数・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否を以下に示します

2.4FH1 ■■■■	「2.4」	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備
	「FH」	: FH-SS 方式
	「1」	: 想定干渉距離 10m 以下
	「■■■■」	: 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局の帯域を回避可

Bluetooth のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.
U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

定格

送受信周波数	デジタル簡易無線登録局（6.25kHz 間隔、82 波） 351.03125MHz ~ 351.10000MHz 351.20000MHz ~ 351.63125MHz 上空用チャンネル（6.25kHz 間隔、15 波）（モニターのみ可） 351.10625MHz ~ 351.19375MHz
電波形式	F1C/F1D/F1E/F1F
変調方式	4 値 FSK
通信方式	単信プレストーク式
送信出力	5W/2.5W/1W
電池持続時間*	SBR-49LI 使用時：約 15 時間（ノーマルモード）/ 約 13.5 時間（プロモード）
受信感度	-2dBuV 以下（BER=1% 時）
低周波出力	1400 mW 以上（10%歪時）
動作温度範囲	-20℃ ~ +60℃
定格電圧	DC7.4V ± 10%
本体寸法	約 W51.5mm × H95mm × D32mm（SBR-49LI 装着時 / 突起物含まず）
本体重量	約 228g（SBR-49LI、ERA アンテナを含む）

※送信出力 5 W、送信 5 : 受信 5 : 待受け 90 の割合による運用時（バッテリーセーブ機能オン、Bluetooth 機能オフ）

安全上のご注意 ～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください



危険

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物の損害のみの発生が想定される内容を示しています



行ってはならない禁止事項です (例 ㊄ 分解禁止)



必ず守っていただきたい注意事項です



危険



自動車を運転しながら交信や操作をしない
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります



運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください



航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る



電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります



引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない



発火事故や落下事故などの原因になります



電源端子やリチウムイオンバッテリーの端子にはんだ付けやショートをしていない



火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります
ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください



リチウムイオンバッテリーを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない



火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります



警告



分解や改造をしない

本機は電波法に基づく無線局で使用する通信機器です
分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります



心臓ペースメーカー装着者は使用しない



本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります



当社指定以外の充電器を使用しない

火災や故障の原因になります



煙が出ている、変な臭いがするときは電源スイッチを切って、リチウムイオンバッテリーを外す



火災や故障の原因になります。お買い上げいただいた販売店にご相談の上、修理を依頼してください



心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります



注意



指定以外のオプションを使用しない

ケガの原因になります



また、本体の故障や破損の原因にもなります



強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない

故障の原因になります



リチウムイオンバッテリーを指定の充電器で充電するときの温度範囲は5℃～35℃です

これ以外の温度での充電は、故障の原因になります



磁気カードなどをトランシーバーに近づけない

キャッシュカードなどの内容が消去されることがあります



トランシーバーを直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない

変形や変色等の原因になります



シンナーやベンジンなどでケースを拭かない

変形や変色等の原因になります

ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください

索引

2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意	32
A	
A-ch と B-ch の2つのチャンネルを使用する	37
B	
Bluetooth ヘッドセットでワイヤレス通信を行う	25
C	
CUE 機能に関する設定	24
CUE (キュー) 機能	11
I	
IP68	31
M	
MERGE (マージ) 機能	12
P	
PCA 機能	7
S	
SSM-BT20	25
U	
UC (ユーザーコード) を変更する	36
Y	
YAESU コネクトで使用するチャンネルについて	11
あ	
アフターサービス	31
安全上のご注意	33
う	
運用モードについて	5
運用モードを変更	9
え	
エアクローン	16
エリアリサーチによるチャンネル設定	10
お	
応用編	17
お使いになりながら機能を変更する	4
お使いになる前に	4
か	
外部マイクの感度を設定する	24、37
各部の名前と機能	3
簡易機能の変更	13
簡易設定で変更できる項目	14
き	
基本的な通話のしかた	11
キュー機能	11
キュー機能に関する設定	24
く	
グループ ID を変える	15
グループ以外の通話が聞こえる時は	
グループ ID を変える	15
グループチャンネルに名前を付けて表示する	23
グループモード	6
グループを選ぶ (A グループ～G グループ)	6
こ	
工場出荷時の状態に戻す (リセット)	30
構成品	1
故障かな?と思う前に	31
ご使用になる前の準備	2
し	
充電をする	2
受信する時	11

す	
スピーカーマイクの接続 / 取り外し	2
せ	
正常に動かない時 (リセット)	30
全体設定	27
そ	
送信する時	11
た	
タイピンマイクの接続 / 取り外し	2
正しくご使用いただくために	1
つ	
通話ができなくなったとき	16
て	
デュオモード	7
テレポート機能を変更する	18
電波干渉について	32
の	
ノーマルモードで使用する	35
は	
バッテリーの取り付け / 取り外し	2
ひ	
必要のないグループを消去する方法	6
ふ	
ブルートゥースヘッドセットでワイヤレス通信を行う	25
プロモード	5
へ	
便利な機能	11
ほ	
防水性能について	31
ま	
マージ機能 (デュオモードの時)	12
マイクの感度を変える	24、37
マニュアルでチャンネルを変える	22
め	
メンバーに合図を送る (キュー機能)	11
ゆ	
ユーザーコードを変更する	36
り	
リセット	30
リチウムイオンバッテリーの取り付け / 取り外し	2
ろ	
ローバッテリーアラート機能	2
ロック機能	11
わ	
ワンクリックハンズフリー機能	23

ノーマルモードで使用する

**YAESU コネクトの機能を持たないトランシーバーと
通話する時のモードです**

ノーマルモード

YAESU コネクトの機能は使えません

- ・工場出荷時は、画面に表示されている 1 つのチャンネルだけで通話を行う設定になっています
- ・全体設定項目“F11 送受信チャンネル”を“DUAL”にすると、テレポートキーを**短押し**して A-ch と B-ch を切り替えて運用することができます（次ページ参照）。この場合 A-ch、B-ch どちらのチャンネルの信号も受信できますが、送信は画面に表示されているチャンネルで送信します

UC（ユーザーコード）を変更する

本機のユーザーコードは、工場出荷時に“000”に設定されています。“000”はコードが異なる信号も受信できますので、他のグループとの混信を避けるため“000”以外に設定することをお勧めします

ユーザーコードは A-ch と B-ch 個別に設定できます

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を**短押し**して、ユーザーコードの設定項目を選びます
A-ch のユーザーコードは“1 ユーザーコード CH(A)”で設定します
B-ch のユーザーコードは“2 ユーザーコード CH(B)”で設定します
3. テレポート^{※2}キーを**長押し**すると、1 桁目の数字が点滅します
4. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を**短押し**して、数字を選びます
ユーザーコードは“000”～“511”を設定できます
5. SRD790 の場合 → テレポートキーを**長押し**します → 手順9に進みます
SRD795 の場合 → 手順6に進みます
6. テレポートキーを**短押し**すると、数字が確定して左の桁に移動します
7. 手順4～6を繰り返して3桁の数字を設定します
8. [－] キーを**長押し**します
9. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

※1：SRD795 の場合は [▼]/[▲] キーでも可

※2：SRD795 の場合は [－] キーでも可



現在のチャンネルを変更する

使用するチャンネルを 01 ～ 82 の中から選んで変更することができます

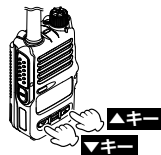
SRD790 の場合

1. テレポートキーを**長押し**します（チャンネル番号が点滅します）
2. テレポートキー / CUE キーを**短押し**してチャンネルを変えます（01 ～ 82 から選べます）
3. テレポートキーを**長押し**します（チャンネル番号が点滅から点灯に変わります）



SRD795 の場合

[▼]/[▲] を**短押し**してチャンネルを変えます（01 ～ 82 から選べます）



全体設定項目“F11 送受信チャンネル”を“DUAL”にしている場合は、テレポートキーを**短押し**して A-ch と B-ch を切り替えることができます（次ページ参照）

A-ch と B-ch の2つのチャンネルを使用する

テレポートキーを短押しして A-ch と B-ch を切り替えて運用することができます

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を短押しして“F11 送受信チャンネル”の設定項目を選びます
3. テレポートキー^{※2}を長押しします
4. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を短押しして“DUAL”選びます
5. テレポートキー^{※2}を長押しします
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

※1：SRD795 の場合は [▼]/[▲] キーでも可

※2：SRD795 の場合は [－] キーでも可



マイクの感度を変える

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時は、機能設定項目で内部マイクおよび外部マイク使用時は外部マイクのマイク感度を変えることができます

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を短押しして、設定する項目（下記参照）を選びます
3. テレポートキー^{※2}を長押しします
4. テレポートキーまたは CUE キー^{※1}を短押しして、設定を変えます
5. テレポートキー^{※2}を長押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

※1：SRD795 の場合は [▼]/[▲] キーでも可

※2：SRD795 の場合は [－] キーでも可



◎ **マイクの感度を設定する** → 全体設定項目の“12 マイク感度”で設定します



マイク感度は LOW 1 ↔ LOW 2 ↔ MID ↔ HIGH 1 ↔ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“MID”に設定されています

◎ **外部マイクを使っている時のマイク感度を設定する**

→ 全体設定項目の“13 外部マイク感度”で設定します



マイク感度は LOW 1 ↔ LOW 2 ↔ MID ↔ HIGH 1 ↔ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“MID”に設定されています

簡易機能の変更

使用頻度の高い 19 種類の設定項目をすぐに呼び出すことができます

①

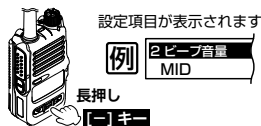
SRD790 の場合

テレポートキーを押しながら
CUE キーを短押しします



SRD795 の場合

[-] キーを長押しします



②

テレポートキーまたは
CUE キーを短押しして
設定する項目を選びます



③

テレポートキーを長押し



現在の設定が点滅します



④

テレポートキーまたは
CUE キーを短押しして
設定値を変えます



⑤

テレポートキーを長押し
設定項目に戻ります



設定が反映されます



⑥

アクセスキーを短押しします
通常の運用画面に戻ります



簡易設定で変更できる項目

機能項目	出荷時の設定	機能
1 ユーザーコード CH(A) Achでの通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000 ~ 511
2 ユーザーコード CH(B) Bchでの通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000 ~ 511
3 秘話 CH(A) Achで通話時に、他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます（秘話通信）	OFF	OFF 秘話機能は動作しません（通常はこの状態で使います） ON 秘話機能が動作します
4 秘話コード CH(A) Achで秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
5 秘話 CH(B) Bchで通話時に、他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます（秘話通信）	OFF	OFF 秘話機能は動作しません（通常はこの状態で使います） ON 秘話機能が動作します
6 秘話コード CH(B) Bchで秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
7 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯します OFF 画面とキーの照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します 全消灯 画面、キーの照明、LED インジケータが点灯しなくなります 明かりの使用を制限された特別な環境で使用する時のみ設定してください
8 ビープ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
9 CUE ビープ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
10 受信ビープ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
11 送信ビープ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
12 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
13 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大

機能項目	出荷時の設定	機能
14 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	ブレスツートーク	ブレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります ハンズフリー感度小 キーを 短押し して送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします ハンズフリー感度中 キーを 短押し して送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います ハンズフリー感度大 キーを 短押し して送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします 連続送信 キーを 短押し すると送信を開始し、もう一度 短押し するまで送信を続けます 受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります
15 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ～レベル 15（数字が大きいくほど明るくなります）
16 ノイズキャンセル 送信時に周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信することができる機能をオン/オフすることができます	感度大	OFF ノイズキャンセル機能をオフにします 感度小 比較的静かな環境で使用する時は“感度小”にします 感度中 周りの騒音が気になる場合は“感度中”にします 感度大 周りの騒音が激しい環境で使用する時は“感度大”にします
17 ブルートゥース (Bluetooth 対応モデルのみ表示されます) Bluetooth 機能をオン/オフすることができます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
18 ブルートゥースマイク感度 (17ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → → → → 感度大
19 ブルートゥース初期化 (17ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化することができます	1. “19 ブルートゥース初期化” にあわせませす 2. テレポートキーを 長押し します → “実行する” が点滅します 3. テレポートキーを 長押し します → “初期化完了” が点灯 → “17 ブルートゥース” の項目が表示されたら初期化は終了です	

全体設定

42種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます

①

CUE キーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます

緑色で点滅

CUEキー

設定項目が表示されます

例 1 バックライト ON

②

テレポートキーまたはCUE キーを短押しして設定する項目を選びます

短押し (←方向) CUEキー

短押し (→方向) テレポートキー

SRD795 は▲/▼キーでも選択できます

▲キー ▼キー

③

テレポートキーを長押し

長押し テレポートキー

現在の設定が点滅します

2 ビープ音量 HIGH 1

④

テレポートキーまたはCUE キーを短押しして設定値を変えます

短押し (←方向) CUEキー

短押し (→方向) テレポートキー

SRD795 は▲/▼キーでも選択できます

▲キー ▼キー

⑤

テレポートキーを長押しして設定項目に戻ります

長押し テレポートキー

設定が反映されます

2 ビープ音量 OFF

⑥

アクセスキーを短押し

短押し アクセスキー

自動で電源がオフ → オンになり通常の運用画面になります

機能項目	出荷時の設定	機能
1 ユーザーコード CH(A) Achでの通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000 ~ 511
2 ユーザーコード CH(B) Bchでの通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000 ~ 511
3 秘話 CH(A) Achで通話時に、他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます (秘話通信)	OFF	OFF 秘話機能は動作しません (通常はこの状態で使います) ON 秘話機能が動作します
4 秘話コード CH(A) Achで秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
5 秘話 CH(B) Bchで通話時に、他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます (秘話通信)	OFF	OFF 秘話機能は動作しません (通常はこの状態で使います) ON 秘話機能が動作します

機能項目	出荷時の設定	機能
6 秘話コード CH(B) Bchで秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
7 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯します OFF 画面とキーの照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します 全消灯 画面、キーの照明、LED インジケータが点灯しなくなります 明かりの使用を制限された特別な環境で使用する時のみ設定してください
8 ビープ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
9 CUE ビープ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
10 受信ビープ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
11 送信ビープ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
12 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
13 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
14 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	ブレスツートーク	ブレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります ハンズフリー感度小 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします ハンズフリー感度中 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います ハンズフリー感度大 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします 連続送信 キーを 短押し すると送信を開始し、もう一度 短押し するまで送信を続けます 受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります
15 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ~ レベル 15（数字が大きいくほど明るくなります）
16 ノイズキャンセル 送信時に周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信することができる機能をオン/オフすることができます	感度大	OFF ノイズキャンセル機能をオフにします 感度小 比較的静かな環境で使用する時は“感度小”にします 感度中 周りの騒音が気になる場合は“感度中”にします 感度大 周りの騒音が激しい環境で使用する時は“感度大”にします
17 ブルートゥース (Bluetooth 対応モデルのみ表示されます) Bluetooth 機能をオン/オフすることができます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
18 ブルートゥースマイク感度 (17ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大

機能項目	出荷時の設定	機能
19 ブルートゥース初期化 (17ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetoothに関する設定だけを初期化することができます		1. “19 ブルートゥース初期化”にあわせます 2. テレポートキーを 長押し します → “実行する” が点滅します 3. テレポートキーを 長押し します → “初期化完了” が点灯 → “17 ブルートゥース”の項目が表示されたら初期化は終了です
F1 受信ビープ音 受信時に相手の通話開始・終了を確認するビープ音をオフにすることができます	ON (始/終)	ON(開始) 相手の通話を受信開始した時だけビープ音が鳴ります ON(終了) 相手の通話が終了した時だけビープ音が鳴ります ON(始/終) 受信開始と受信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません
F2 送信ビープ音 送信時に自分の通話開始・終了を確認するビープ音を鳴らすことができます	ON (終了)	ON(開始) 送信を開始した時だけビープ音が鳴ります ON(終了) 送信が終了した時だけビープ音が鳴ります ON(始/終) 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません
F3 CUE 送信 CUE 信号の送信機能をオフにすることができます	ON	ON CUE キーを押すと CUE 信号を送信します (通常はこの状態で使用します) OFF CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません
F4 CUE ビープ音 CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音を選択できます	TYPE-A	好みにあわせて 3 バターン (TYPE-A / TYPE-B / TYPE-C) から選択することができます
F5 外部マイク接続時 外部マイクを接続した時に、本体のアクセスキーを無効にすることができます	アクセスキー有効	アクセスキー有効 外部マイクを接続してもトランシーバー本体のアクセスキーは有効です アクセスキー無効 外部マイクを接続すると、トランシーバー本体のアクセスキーは無効になります 本体マイク有効 イヤホンや外部マイクを接続したとき、トランシーバー本体のマイクが有効になります
F6 バッテリーセーブ バッテリーの消費を抑える機能のオン/オフを選択できます	OFF	ON バッテリーセーブ機能がオンになります OFF バッテリーセーブ機能がオフになります
F7 オートパワーオフ 一定時間何も操作を行わない場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定することができます	OFF	OFF 自動で電源はオフになりません (通常はこの状態で使用します) 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 8 時間 選択した時間何も操作を行わないと自動的に電源が切れます
F8 送信出力 送信出力を下げてバッテリーの持続時間を延ばすことができます	HIGH (5W)	HIGH (5W) / MID (2.5W) / LOW (1W)
F9 RX イコライザー 受信音を好みの音質に変更することができます	高域強調	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
F10 TX イコライザー 送信音を好みの音質に変更することができます	OFF	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
F11 送受信チャンネル Ach だけで運用するか Ach と Bch の 2 つのチャンネルで運用するかを選択できます	SINGLE	DUAL Ach と Bch の 2 つの通話チャンネルの両方を受信します 送信は自動で空いている方のチャンネルを選んで送信します SINGLE Ach だけで運用します
F12 上空 CH モニター 上空用の 15 チャンネル (CHS01 ~ CHS15) を受信することができます	OFF	OFF 上空用のチャンネルは受信できません ON 上空用チャンネルを受信できるようになります
F13 弱電界アラーム 受信信号が微弱になったことをアラームで知らせる機能をオン/オフすることができます	OFF	OFF 弱電界アラーム機能は動作しません ON 弱電界アラーム機能が動作します
F14 コントラスト 画面表示のコントラストを調節することができます	レベル 08	レベル 01 ~ レベル 15 (数字が大きいくほどコントラストが強くなります)

機能項目	出荷時の設定	機能
F15 CUE KEY 短押し CUE キーを 短押し した時の動作を選択します	CUE	CUE メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ります キーロック アクセスキー以外のキーをロック / ロック解除をします セカンドリ PTT Bch で送信します 無効 短押し は無効になります
F16 CUE KEY 長押し CUE キーを 長押し した時の動作を選択します "F15" の設定を "セカンドリ PTT" にした時は "無効" 以外は選ばません	PA	PA 現在のチャンネルで PA 機能が動作します PA+ "F21 PA+ 送信チャンネル" で設定したチャンネルで PA 機能が動作します キーロック アクセスキー以外のキーをロック / ロック解除をします 無効 長押し は無効になります
F17 外部 2nd キー短押し オプションのスピーカーマイクの 2nd PTT キーを 短押し した時の動作を選択します	無効	CUE メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ります キーロック アクセスキー以外のキーをロック / ロック解除をします セカンドリ PTT Bch で送信します 無効 短押し は無効になります
F18 外部 2nd キー長押し オプションのスピーカーマイクの 2nd PTT キーを 長押し した時の動作を選択します	無効	PA 現在のチャンネルで PA 機能が動作します PA+ "F21 PA+ 送信チャンネル" で設定したチャンネルで PA 機能が動作します キーロック アクセスキー以外のキーをロック / ロック解除をします 無効 長押し は無効になります
F19 PA 送信 構内アナウンス用スピーカーから音声を出すことができます	ON	ON PA 送信機能がオンになります OFF PA 送信機能がオフになります
F20 PA 受信 PA 機能の音声をトランシーバーのスピーカーから出力しないようにできます	ON	ON PA 機能で送信された内容を自分のトランシーバーのスピーカーで聞くことができます OFF PA 機能で送信された内容を自分のトランシーバーで聞くことはできません
F21 PA+ 送信チャンネル "F16" または "F18" の設定を "PA+" にした時に PA 機能が動作するチャンネルを選択できます	CH01	CH01 ~ CH82 "CH15" は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません
F22 設定内容転送 セットモードの内容を他の SRD790/795 にコピーすることができます	1. 設定を送るトランシーバーと受けるトランシーバーを "F22 設定内容転送" にあわせませ (準備中) の表示が "受信待機" になるまで待ちます 2. 設定を送るトランシーバーのアクセスキーを 短押し します "送信実行" が表示されます 3. コピーが終了すると設定を受けた側のトランシーバーが自動で電源がオフになり、その後自動で電源がオンになります 4. 設定を送った側のトランシーバーは、手動で電源を入れなおしてください	
F23 設定リセット 全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます	1. "F23 設定リセット" にあわせませ 2. テレポートキーを 長押し します → "実行する" が点滅します 3. テレポートキーを 長押し します → "リセット完了" が点灯 → 自動で電源がオフになりその後自動で電源がオンになります	

YAESU

Radio for Professionals

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください
取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります
詳しくは下記の URL をご覧ください

八重洲無線株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F

電話：03-6404-6525

URL：http://www.yaesu.com/jp/

2412F-AS
Printed in Japan



E N 0 1 5 U 0 0 0